

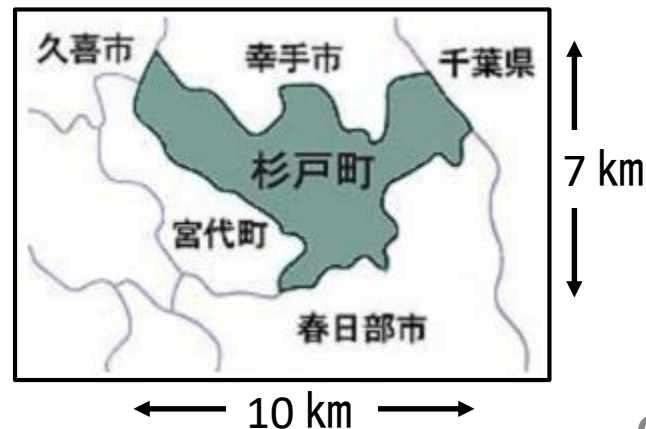


# 交通資源を120%活用し 高齢者も暮らしやすいまちへ!

2023年8月23日 杉戸町総合政策課  
松本 貴之

# 杉戸町の位置

人口:約44,000人  
面積:30.03 km<sup>2</sup>(縦7km 横10km)  
アクセス:東武伊勢崎線  
東武スカイツリーライン  
北千住駅から直通26分  
人口密度:約1,460人/km<sup>2</sup>







## 道の駅アグリパークゆめすぎと

約10.2haの 広大な敷地  
年間利用者数 年間**180万人**以上

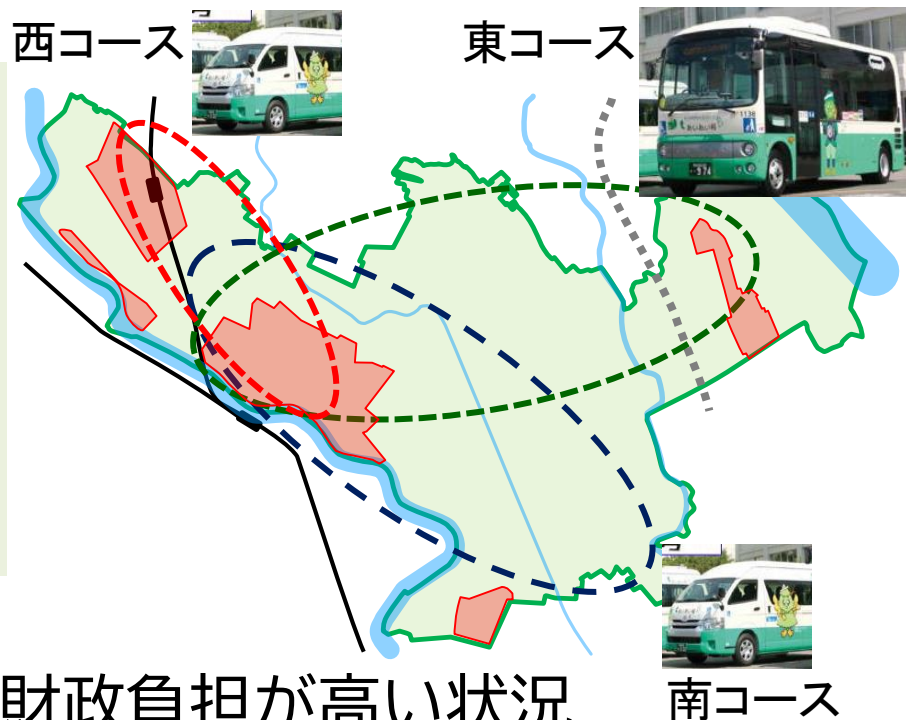


## 古利根川流灯まつり

**日本最大級**の灯ろう 約**250基**  
約1kmの流灯 (たたみ一畳/基)

# 現在の巡回バスの状況

運行	朝日自動車(株)・細井自動車(株)
運行日	平日のみ
料金	200円
周回数	1日 6周回(1時間半/周)
乗車定員	10人(2台)・18人(1台)
最終便	17時30分

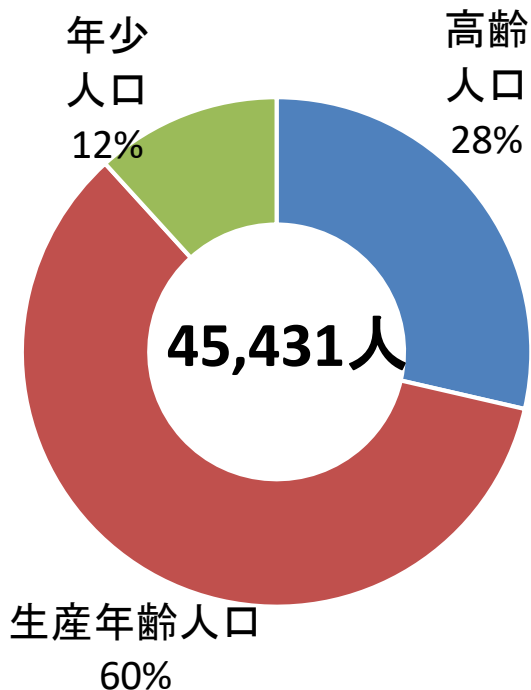


利用者が少なく、町の財政負担が高い状況

年間利用者	約19,000人	利用率	約20%
年間町負担額	約4,000万円		

## 人口構成(国勢調査)

平成27年10月1日



総人口

約1,500人減

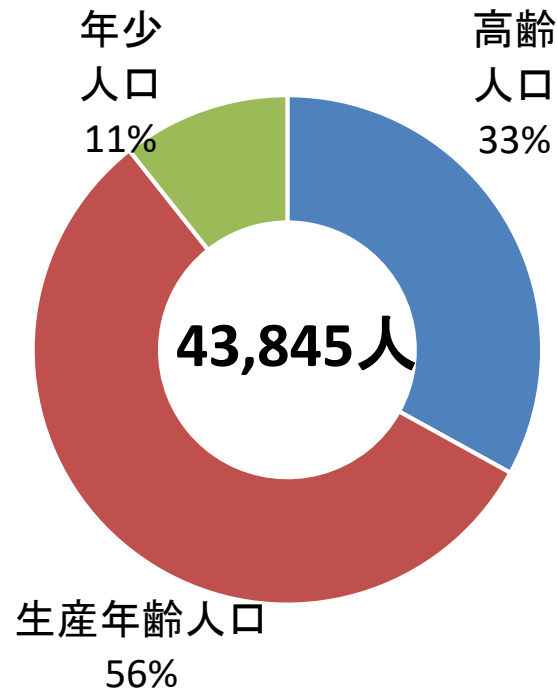
生産年齢人口

約2,700人減

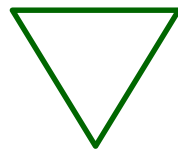
高齢人口

約1,800人増

令和2年10月1日



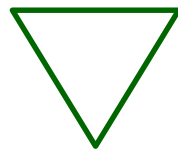
利便性が悪い(間隔が長い、最終便が早い)  
ため、巡回バスが利用されない



高齢者が安心して  
免許返納できない

脱炭素化が  
進まない

地域の交通資源を120%活用



高齢者が安心して  
免許返納ができる

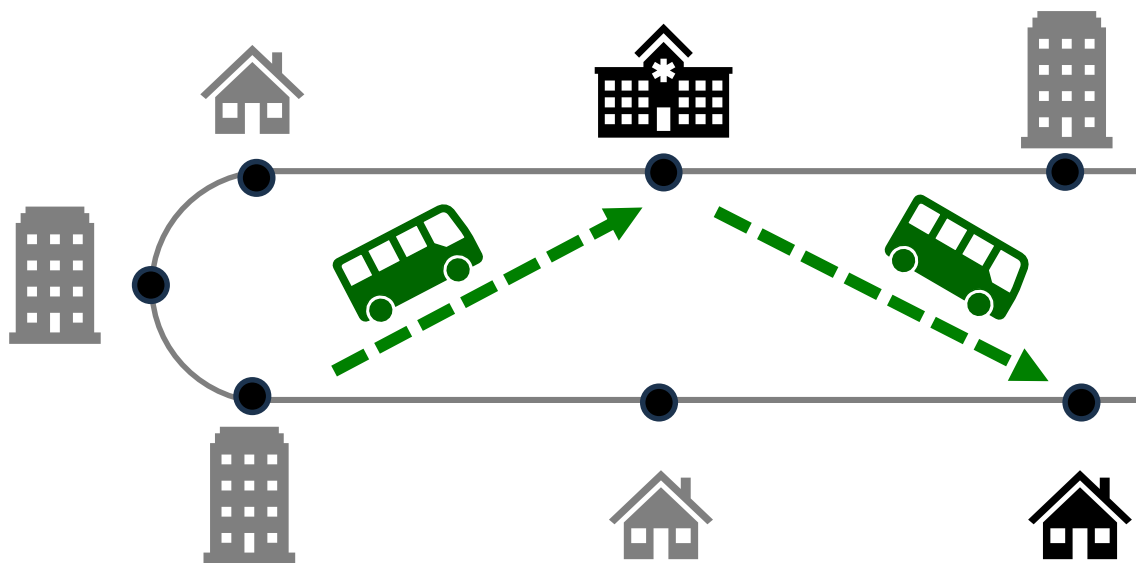
脱炭素化を  
推進できる



# どんな提案を期待しているか

- (1) 巡回バスのオンデマンド化など、  
全面的な刷新や効率的な運行方法
- (2) タクシーや送迎バスなど  
他の交通資源と巡回バスの連携
- (3) 貨客混載や高齢者が移動しなくても  
暮らせる交通関連サービス

(1) 巡回バスのオンデマンド化など、  
全面的な刷新や効率的な運行方法



## (2) タクシーや送迎バスなど 他の交通資源と巡回バスの連携

杉戸町地域支え合い型移動支援事業 ~実施中~

自家用自動車やデイスサービスの送迎車両の空き車両による移動支援

- ▶ 送迎バスなど現在活用できていない車両の活用や交通資源の地域一帯的連携についての提案を期待

## (3) 貨客混載や高齢者が移動しなくても暮らせる交通関連サービス

企業との包括支援協定に基づく移動販売 2023年7月開始  
企業の社会貢献の一環として、町内での移動販売を開始

- ▶ 巡回バスの空席部分などを活用した貨客混載や高齢者が移動しなくても暮らせる移動販売等に関する提案を期待

- ① 交通事業者等の**関係機関**との連絡調整
- ② 取組事業に関する**広報周知**
- ③ 取組の推進に必要な**町保有データの提供**
- ④ 必要に応じた**予算**の調整
- ⑤ **やる気ある職員**による全力での推進

## ① 実証実験のフィールドとしての適性

- ▶ 狭い町域、少なめの交通量、既存施策の実績など  
スモールスタートする上での適地

## ② 他自治体での横展開の可能性

- ▶ 少子高齢化が進んだ地域への横展開の見込みあり

## 【地域課題】

巡回バスの利便性が悪い  
ため、町民に巡回バスが利用されず、  
高齢者も免許返納できない(自家用車依存)

## 【目指す姿】

高齢者も暮らしやすいまち

(安心して免許返納できる)

歩いて暮らせるまち(ウォーカブル)

(脱炭素化を推進できる)

## 【求める提案】

超少子高齢化を見据えて、

地域の交通資源を120%活用した新しい公共交通の提案